

OUJ神奈川学習センター なつだより

通巻第67号

2016年7月22日発行

発行:放送大学神奈川学習センター

〒232-8510 横浜市南区大岡2-31-1

url: <http://www.sc.ouj.ac.jp/center/kanagawa/>

tel:045-710-1910 fax:045-710-1914



真鶴半島三ツ石海岸(2ページに関連記事)

目次	海の動物の「なぜ？」を考える 客員教授 種田 保穂	2~3
	面接授業 「言語・コミュニケーション・障害」 面接授業 「調理科学実験」	4~5
	平成28年度1学期入学者の集いアンケート	6
	ご近所探索《大岡地区センター》	7
	平成28年度神奈川学習センター「学生研修旅行」について	8
	ゼミ・研究会のご案内	9
	Kーサポートからのお知らせ	9
	サークルからのお知らせ／同窓会だより	10~11
	学習センターからのお知らせ	12

神奈川(みなとみらい)



海の動物の「なぜ？」を考える

客員教授 種田 保穂

はじめに

私はホヤを中心とした海の動物の研究をずっとやってきました。そして横浜国大の卒論生、修論生の指導も多くは真鶴の理科教育実習施設(現臨海環境センター)で海の動物を中心に行ってきました。その中で、特に興味を持ったいくつかの研究を紹介します。私はいつも身近な動物の観察を通じて「なぜ？」を研究のスタートに考えていて、学生たちにもそのように研究を進めていくよう指導していました。

(1)なぜエビの複眼は個眼が四角形なのか？

複眼をもっている動物もたくさんいます。多くの動物では個眼は六角形

ですが、不思議なことにエビは個眼が正方形なのです。なぜエビだけ個眼が4角形なのでしょう？ その理由を知るためにカニ



カニの複眼

(個眼は六角形)とエビ(個眼は4角形)で複眼の成長を比較しました。複眼が成長する際に面積は大きくなりますが、①個眼そのものが大きくなって面積



エビの複眼

が増える。②個眼の面積は変わらず、個眼の数が増えて面積が増える。③個眼の大きさも大きくなって数も増えることで複眼の面積が増える。この3つのケースが考えられます。そのどれなのかを調べたところ、カニの場合はほとんど個眼の面積は増えず、数だけがが増えていたように見えた。一方、エビの場合は成長に伴って個眼の面積が増えていた。面白いことに大きさの大きいエビほど個眼の面積も大きいことがわかった。

(2)なぜオウギガニは擬死をするのか？

オウギガニというカニをつかまえると固まって動かなくなります。これを擬死といいます。どのような刺激が擬死を起こすかを調べたところ、捕まえただけでは擬死を起こさないこと、ひっくり返して初めて擬死を起こすことがわかった。

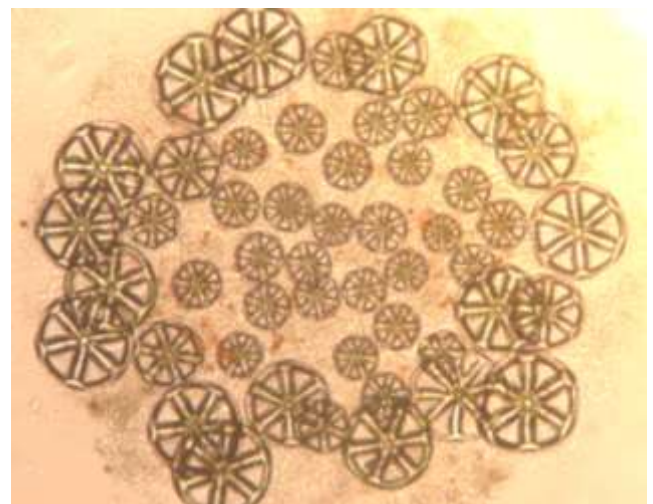


オウギガニ

擬死を起こしたオウギガニ

(3)ムラサキクルマナマコはなぜ車輪のような骨片を持っているのか？

ムラサキクルマナマコはきれいな車輪状の骨片をもっているが、車輪のような形にどんな意味があるのだろうか。それを知るためにそもそも骨片はどんな役割をもっているのかを調べようと思った。ムラサキクルマナマコは表皮の下に集団を作って存在し、輪疣と呼ばれている。機械的刺激によって骨片を放出することがわかった。また、0.5モルのKClを



ムラサキクルマナマコの骨片

外側に与えると一斉に骨片を放出することがわかった。

ところで水槽で餌を与えずに飼育すると餌なしで2年余り生きていることがわかった。おそらく砂の間に発生したバクテリアを食べて生きていたのであろう。そこでそんな栄養飢餓状態で骨片がどうなるかを調べたところ骨片がなくなることはないことがわかった。骨片を作るのに回すエネルギーも節約したいと考えられるのに骨片を作っていたということはそれだけ生存に必要なだということなのだろうか。

(4)なぜベッコウガサの殻は破損しているのか？

ベッコウガサは岩礁地帯の窪みなどに集団で生息していることが多いが、殻の頂点のところがひどく破損しているものが見られる。この破損がどのようにして起こったのかを考えた。波で小石や砂粒などが殻に当たり物理的に破損したと考えると、波の強い場所と弱い場所で破損状況に大きな違いが生じるだろうと考えたが、そのような傾向は見られなかった。そこで、殻の破損箇所を実体顕微鏡でもう少し詳しく調べた。すると3種類の破損が見つかった。(1)直径数百マイクロンほどのへこみ、(2)無数のスジ状の溝、(3)小さな丸い穴。この3種の破損は(1)と(2)はどの貝殻にも見られたが、(3)は少数のものにしか見られなかった。このうち(2)のスジ状の溝については方向が様々で、波などによって物理的につけられた跡とは考えられないので歯舌の跡ではないかと考えた。そこで歯舌の歯と歯の間の幅を測定し、スジ状の溝の間隔と比較したところほぼ同じ間隔であることがわかった。



破損の程度がちがうベッコウガサ



破損部分の実体顕微鏡写真

(5)タマキビの光走性はなぜ変わるのか？

タマキビは夏には負の光走性を示し、冬には正の光走性を示すという。このことに興味をもってタマキビの光走性を調べた。夏の負の光走性についてははっきりとした傾向が認められなかった。アラレタマキビについては負の光走性が見られた。次に冬の光走性について調べたが、真鶴で採集し横浜の研究室に持ち帰った直後のタマキビははっきりとした正の光走性を示さなかった。しかし4週間ほど横浜で放置しておいたものではきれいな正の光走性が見られた。そこで空腹になると餌を求めるとして正の光走性を示すようになるのではないかと考え、横浜の実験室に持ち帰って正の光走性を示すようになった個体をマーキングし、真鶴の海岸に戻した。そして1週間餌を食べさせておいて再捕獲し、再び横浜に持ち帰って光走性を調べた。その結果、予想通りまた正の光走性を示さなくなった。その個体をしばらく横浜に放置しておいたところまた正の光走性を示すようになったのは言うまでもない。この一連の実験によりタマキビは冬の空腹時に正の光走性を示すことが明らかになった。

面接授業「言語・コミュニケーション・障害」

編集部

4月16日と23日、面接授業「言語・コミュニケーション・障害」が、講師：牧野泰美先生(国立特別支援教育総合研究所総括研究員)により、開講された。



先生の自己紹介と講義の概要説明のあと、出席を取りながら、授業に参加した動機を聞き、先生がコメントしてゆく(動機を喋りたくない方は、パスもできる。)時間が取れ卒業に必要な単位だったから受講したという方から、コミュニケーションが苦手という方、何らかの形で、障害を持った方とかかわっている方など、人それぞれの出席動機。自分と同じような動機だったと思えたり、意識の高さに感銘を受けたり、場の空気が和んで行くと同時に、障害やコミュニケーションのことを考えるきっかけが提供されていった。

人が成長するにつれて言葉を獲得して行く過程、生得的に持っている部分と学習によって獲得してゆく部分があって、発音、文法、語彙の別に、臨界期と言われる一定の年齢までの間でだけ獲得され、それを過ぎると獲得することが極めて困難になってしまうことなどを、学んだ。

一日目の終わりに、「子どもの話を聴くときは、教えてもらおう気持ちでね 一生懸命、耳傾けて、教えてもらおう、子どもの世界・・・」という、文の朗読。子どもの話を聴くときだけでなく、人の話を聴くコミュニケーションを取るために必要なことを、やさしい言葉で表現した文章だった。

1週間置いて、2日目の授業、音韻や、構文、語用、コミュニ



ケーション。そして、コミュニケーションと障害の話。

ビデオも使いながら、この授業の大きなテーマである吃音(どもり)へと授業が進む。吃音は、原因が解明されていないくて、根本的ななおし方はない。幼児期では、5%もの人が、吃音を持っている。大半の人は、小学生の頃には自然になおってしまう。それでも、1%の方

は、その後も吃音を持ち続ける。言葉を仕事としている有名人にも、吃音の方はいる。それには、ほとんどの人は気づかない。吃音に対する対応がうまくなって、人が気づかないようにする技術を身につける人も多いという。吃音を否定するというより、吃音を糧として、個性として受け入れる生き方も紹介された。

言語と障害について学びながら、コミュニケーションの難しさが印象に残った。難しいと言うより、コミュニケーションが取れることが当たり前と思わずに、ちょっとしたことでも、コミュニケーションができることがすばらしいって思うことの大切さ、好きなものが同じといったくらいのことで、共感できることの大切さなどを感じた授業だった。



言葉で表現された行動を、動物の模型を使って具体的に行う。子どもは、成長するにつれて、複雑な単語の繋がりも、理解できるようになる



面接授業「調理科学実験」

編集部

5月7日と8日、第2(生物・化学)実験室にて、面接授業「調理科学実験」が開講された。講師は、杉山久仁子横浜国立大学教授。

授業の初め、受講生に、どんな味があるか？受講生に聞く。いろいろな「味」の名前が出てき、酸味、苦味、甘味、塩味、うま味、の5つが基本的な味とのことだった。

その中の、甘味について・・・受講生は、名前の書いていない8つの甘い粉末を味わって、何なのか当てる。色、舌触り、どのような甘さ化の感じ方、それぞれに特徴があることは、す



上白糖、三温糖、果糖など、8種類の甘味を較べる

ぐわかるが、名前となるとなかなか出てこない。先生に正解を言われて「ああ、その名前の甘味料だったか」となった。

つぎは、うま味。プチトマト、パルメザンチーズ。鰹だし、昆布だし、混ぜたものを味わった。

塩味、0.8%食塩水、1.0%食塩水、1.0%食塩水+うま味調味料、どのくらい塩からさを感じるか？

また、形態による味の感じ方、牛乳の砂糖を加えてたもの、それを寒天で固めたものを味わう、どちらがどれだけ甘く感じるだろうか？

午後は、炊飯の実験。ご飯が炊けて行く様子をビーカーのガラス越しに見る。炊飯器の宣伝に「おどり炊き」というのがあって、実際のお米が炊きあがって行く様子が眺めら



ビーカーを使った炊飯の実験、1合のお米を十分に給水させたあと時間と温度を測りながら炊く

れた。炊きあがったご飯を試食。僅か1合、30分ほどの炊飯時間というのに、なかなか美味しい。十分な吸水や深さがおいしさに影響しているという。

2日目、午前は、卵



条件による卵の凝固の違いを説明する講師の杉山教授(写真上)



豆乳の凝固実験。豆乳を温めにかりを入れて固める。にかりを入れてから固まり具合をみる(写真左)

や豆腐の凝固の実験。午後は、食物の色、化学反応による色の変化などを見た。

家庭の日常で行われていることを、実験で見せてくれる。「発見のある授業」とても新鮮に感じた。味覚も含め日頃より自分自身の感覚を研ぎ澄ませておきたいと思った。

実験のあとは、基本的に試食して、自分の感覚で確かめる。なお、食物に触れる器具等は、安全面から先生が持参されてたものでした。



なすを、水、重曹水、酢水、みょうばん水、茹でる。アントシアニン色素が反応して色が変化する

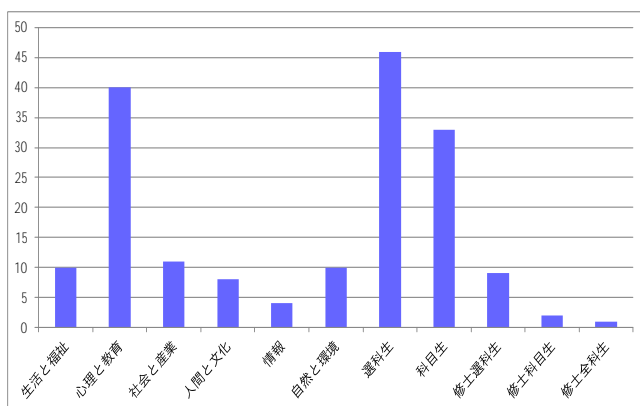
平成28年度1学期入学者の集いアンケート

編集部

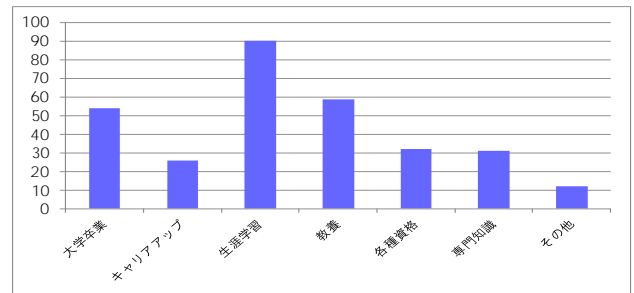
「学生生活に関するアンケート」として、2009年のなつだよりに掲載して以来、入学者の集いと神奈川学習センターで開催される学位授与式で、アンケート用紙を配り、年に2回本誌上で、学生アンケートを掲載してきました。入学者の集いでは、学習センター事務室からのアンケートと、学習センターだよりからのアンケートの2つのアンケートに答えなければならない。負担の軽減と、現状に適合した設問に切り替えるために、2つのアンケートを統合し、共同利用にすることになりました。タイトル、アンケート項目もリニューアルされて実施しました。

アンケートの方法は、入学者の集い参加者に配付資料と一緒にアンケート用紙を配り、会場の出口で収集する方式。集い参加者255名のうち、177名の方に回答いただき回収率は、69%でした。

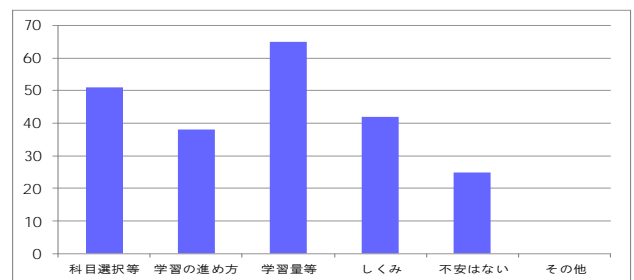
設問は、10問。Q1. 入学の学生種類とコース
Q2. はじめての入学か、再入学か Q3. 性別、年代、職業、居住地域 Q4. 放送大学のことをどこで知ったか(媒体の種類) Q5. 募集要項を入手した場所 Q6. 入学した目的 Q7. 放送大のしくみや、学習のすすめかた等で、わかりにくいところがあるか Q8. 入学前に、電話相談や学習センターの相談を利用したか Q9. パソコン、インターネットの利用状況 Q10. 入学者の集いの感想および自由意見
このうち、Q. 3. 4. 5は、主に学習センター事務室が利用する設問として設定されています。



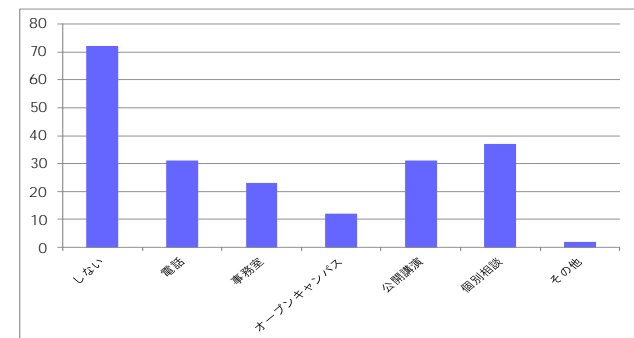
はじめに、学生種別の入学者(左下図)です。学部について、51%が全科履修生、そのうち半数が、心理と教育。選科生28%科目生20%。前回よりも、全科生の比率、心理と教育の比率が高くなりました。



入学動機については、生涯学習が多いのは、例年の傾向ですが、例年より卒業を目指す割合が少なく教養をつけるの割合が多くなっています。

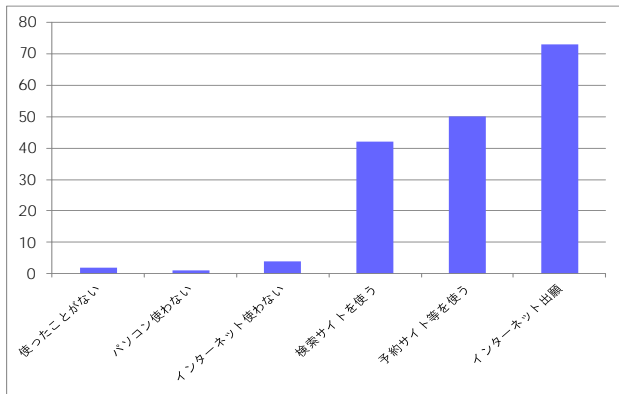


放送大学のしくみ、学習のすすめ方でわかりにくいところはの問いには、例年より学習のすすめ方についての不安が、少なくなっています。



今回からはじめて、入学前の相談状況についての問いには、40%が相談をしなかったと答えている反面、20%が個別相談を利用し、18%が電話での相

談を利用していることがわかりました。



パソコンの利用について、インターネットを使っていないのは、4%程度、96%は日常的にインターネットを使っていました。さらに、42%が、ネット出願していて、放送大学のIT化はかなり進捗していることがわかります。

【自由記入欄 多かった感想・意見】

- ・客員教授の先生方の話しが、個性的で興味深かった。ゼミや、面接授業に参加したくなった。
- ・案内に「集い」と記載あったが、格式ある入学式で、合唱団の歌声もすばらしくよかった。
- ・面接授業やサークル、ゼミなど、通学制の大学に劣らない学びの手段があることがわかり、学習意欲がわいた。
- ・駐車場の用意があると、学習センターを利用しやすいと思う。
- ・式全体が長時間なるので、タイムスケジュールや資料が事前に入手できると助かる。(複数の方から、感想、意見のあった事柄について、纏めて掲載しました。)

ご近所探索《大岡地区センター》——学習センターの行き帰りに利用してみませんか？

神奈川学習センターのある横浜市には多くの公共または民間の施設がそろっています。このコーナーでは、学習センターの行き帰りなどに気軽に立ち寄ることのできる施設等を紹介していきます。

まず、学習センターを出て道の反対側に見える建物から。建物内は、横浜市の、南ス

当センターは、地域の方々、サークルなどが気軽に集い、高齢の方から子どもまで、どなたでも興味や関心に惹かれて自ら楽しみ、日々の充実をはかる生涯学習のための施設です。



ポーツセンター・大岡地区センター・大岡地域ケアプラザという3つの施設があります。

大岡地区センターに、お話を伺ってみました。地区センターの事業の大きな柱は二つあ



プレイルーム

るそうです——各種行事・講座などの開催、そして、サークル・自治会等へ活動の場の提供、です。

地区センターに行くには、建物を入れてすぐ目前にある階段かエレベーターで2階に上がります。2階には受付をはじめ、図書コーナー、会議室等が、3階にはレクホール、ロビー、自販機、プレイルーム等があります。

いずれについても、横浜市在住・在勤・在学等を『問わずに』利用ができます。した

がって学習センターの行き帰りに自主講座を受講しに立ち寄るのもいいでしょう。図書コーナーでの図書の閲覧（カードを作成して図書の借り出しも可能です）やロビーで飲食できるのは、ちょっとした楽しみになります。またプレイルームでは、未就学児が保護者同伴で遊ぶことができますので、単位認定試験中などご家族で利用することが可能です。

詳細は、次の連絡先まで

《大岡地区センター》横浜市南区大岡1 - 1
4 - 1 Tel 045 - 743 - 2411



ロビー（娯楽コーナー）



図書コーナー（学習コーナー）

平成28年度神奈川学習センター「学生研修旅行」について

下記のとおり実施いたします。

研修テーマ：ノーベル医学・生理学賞受賞 大村智博士の故郷を訪ねる！

研修目的：大村智博士が館長を務める山梨県韮崎大村美術館を訪問し、大村博士が蒐集した絵画や陶磁器などの美術品を鑑賞して美術作家の魅力や歴史について学びます。サドヤ醸造場では地下ワインセラーに展示してある当時使用していた貴重な機械や樽貯蔵庫などを見学し、サドヤの歴史とワインについて理解を深めます。

1. 日 時：平成28年10月13日(木)8:30～18:00【雨天決行】

横浜駅西口天理ビル前 8:20集合、18:00解散(予定)

2. 研修場所：①山梨県韮崎市 韮崎大村美術館

②山梨県甲府市 サドヤ醸造場

3. 募集人数：35名（応募者多数の場合は抽選となります。）

4. 申込受付：7月22日(金)～7月31日(日)（センター閉所日を除く）

神奈川学習センター窓口にて（窓口以外での受付はできません）

学生研修旅行抽選申込書を提出してください。

5. 抽選結果：抽選結果は8月14日(日)に、当選者の番号を神奈川学習センターホームページ(<http://www.sc.ouj.ac.jp/center/kanagawa/>)及び神奈川学習センター内の掲示板に掲示します。抽選結果の連絡は一切行いませんので、必ずご自身で確認を行ってください。

6. 当 選 者 参加手続：当選者は8月14日(日)～8月28日(日)（センター閉所日を除く）の期間中に、参加費800円（事前準備費、バス旅行傷害保険代）と、参加確認書（参加費支払い後配布する書類）を神奈川学習センター窓口にて提出してください。期間中に参加費のお支払いがない場合は、参加権利を失います。この場合、繰り上げ当選者に参加権利が移ります。

7. 研修指導：池田所長、センター客員教授2名、K-サポート(バス研修チーム)

8. そ の 他：①参加者には簡単な感想文(学生研修旅行参加報告書)を提出してもらいます。

②交通移動手段として、借り上げバスを利用します。

③昼食は各自で用意となります。お弁当類を持参するか大村美術館併設の食事処でお取りください。

④研修パンフレットは9月下旬に送付する予定です。

ゼミ・研究会のご案内

○平成28年度神奈川学習センター開講ゼミ・研究会一覧				平成28年7月10日現在
①客員教授開講ゼミ				
教員	ゼミ名	開催曜日	開催日(予定含)	申込先・連絡先
有馬 眞	地球科学ゼミ	原則月1回	5/24(所外)、7/5(所外)	arima@ynu.ac.jp
杉田正樹	哲学カフェ	原則第4土曜日	4/23、6/25、8/27	msugita@kanto-gakuin.ac.jp
中嶋俊夫	第九を楽しむ	原則月2回(土・日)	4/9、5/7、5/29、6/11、6/26、7/10	http://www.gassyoh.yumesora.net
種田保穂	種田ゼミ		4/21、5/20	taneda@ynu.ac.jp
角 洋一	角ゼミ		4/12(所外)、6/9、6/23、7/14 8/4、9/29	sumi@ynu.ac.jp
遠山紘司	遠山ゼミ		4/14、5/19、6/30、9/15	kmymt@olive.ocn.ne.jp
②元客員教授開講ゼミ				
教員	ゼミ名	開催曜日	開催日(予定含)	申込先・連絡先
藤原 一繪	植生研究会	原則第2木曜日	4/21、5/12(所外)、6/9(所外) 7/7、9/15、10/20(所外) 11/17(所外)、12/8	syokusei@yakatsu.org
影井清一郎	科学の散歩道研究会	原則第3土曜日	4/23、5/21、6/18、9/17	kagei@ynu.ac.jp
浅野 幸弘	浅野ゼミ	原則第2木曜日	4/14、5/12、6/9、7/14、8/18 9/8	yasano37@ynu.ac.jp
③元放送大学教員開講研究会				
教員(顧問)	研究会名	開催曜日	開催日(予定含)	申込先・連絡先
天川 晃	放送大学ガバナンス研究会	原則第2土曜日	4/9、5/7、6/18、7/3	jkaz5529@gmail.com
柏倉康夫	三無会	不定期開催	6/4	miyako.f17147@jcom.zaq.ne.jp

Kーサポートからのお知らせ

○学習相談チーム

平成28年度2期の学習相談は、10月15日から12月18日までの土曜日と日曜日、午後1時から午後3時50分の間、2階談話室の相談コーナーで行います。予約は不要です。放送大学での学習に関して困っている点に限らせていただきますが、まずは気軽に何でも相談にきてください。

○パソコンサポートチーム

パソコン基礎講習会
 ・8月23日(火曜)13:00~15:50
 「科目登録の提出」

※各回定員15名、各回ごと申し込みが必要です。
 学習センター事務室で、お申し込みください。

祝 第30回記念 フェスタ・ヨコハマ
<放送大学神奈川学習センター学園祭>
 2016年9月3日(土)~9月4日(日)

『出会い・触れ合い・学び合い』

初日：9月3日(土)は、10:00~16:00「映画鑑賞会」「大岡商店」「ダンスパーティー」などのイベントが盛りだくさん。また、当日とも学生等の作品展示を行います。詳細はちらしをご覧ください。

2日目：9月4日(日) 10:00~11:45
 記念講演会：白井 克彦 放送大学学園理事長
 演題：『放送大学の現状と将来』

「学ぶ」とはどういうことなのか、何を人にやらせてくれるのか、学び人が多い社会、学び合いが盛んな社会、それより良い社会が築かれるのです。

放送大学の特色は、専断に無関係に命題など事に必要なことを学べることを実現することです。情報通信の発達、その目的を明確にしてスクリーン(山)を越えて講義を受けるようにしました。この道員を社会でいかに精進に用いるのか、それがこれからの課題です。



講師プロフィール

1939年9月24日生まれ、76歳。
 1968年3月 早稲田大学大学院理工学研究科博士課程単位取得退学。
 1970年4月 早稲田大学助教授(理工学部)。
 1975年4月 助教授。早稲田大学教務部長、国際交流センター所長、常任理事等を歴任し、2002年早稲田大学総長。現在、同学事顧問。
 2011年4月 放送大学学園理事長
 専門は知能情報学。

一般社団法人 日本オープンオンライン教育推進協議会(JMOOC) 理事長
 文部科学省 中央教育審議会生涯学習分科会委員
 独立行政法人 日本学術振興会 専断演習委員会委員
 日本私立大学連盟顧問

引き続き
12:30~15:30 親睦交歓パーティー(立食パーティー)
 茶席、各サークル出店、俳句・川柳大会、大抽選会

参加券：1,000円 ※9月4日行事の参加には「参加券」が必要です。
 当日券の用意はありません。事前にお求め下さい。

入場方法：①神奈川学習センター1階ロビーにて次の日程で配布します。
 (学習センター開講日を除く)
 7月22日(金)・7月23日(土) 9:45~17:00
 7月24日(日)~7月31日(日) 9:30~19:00
 ※下記の参加団体にて取り扱っています。

主催団体：ふるまのり神奈川、神奈川相互会、横浜国際行会、横浜国際研究会、中国語学会、人間学研究会、放送大学神奈川出陣部、放送大学ダンスサークル、放送大学吹奏楽部、放送大学吹奏楽部、神奈川西遊会
 主催：放送大学神奈川サークル協議会 協賛：放送大学神奈川学習センター
 お問い合わせ：D463-02-8337(神奈川サークル協議会事務局長：高橋 理夫)
 080-5545-7313(事務局員：藤原 一繪)

学生サークルからのお知らせ

○うえるかむKanagawa

私たちは英語を楽しみながら学んでいるサークルです。

☆例会は毎月第2、第4水曜日です。(試験月等は変更があります。)

* Benny Class(3クラス) 10:15～12:30

* English songs 13:15～13:30

* Group study 13:30～15:30

☆そのほか暑気払い、うえるかむ名画座、ゲスト講演会などを開催しています。

問い合わせ 片野眞明 090-4714-8260

○ダンスサークル(社交ダンス)

場所:神奈川学習センター第7講義室

曜日:第2・第4火曜日 *第1・第3火曜日自主練習

時間:午後2時～4時 講師:菊島弘明・ユリ子

会費:1か月 1500円

活動内容:社交ダンス(モダン、ラテン)の学習(ダンスパーティーで踊れるレベルに)

ダンスはスポーツです。健康増進(特に、姿勢が良くなる)、ストレス解消に、楽しく踊りませんか!! 人生がより明るくなります。不定期ですが、1泊での実習旅行も実施しています。初めての方も楽しく踊っています(初心者、歓迎!)

また、全科履修生の方は30時間のレッスンで、体育実技1単位を取得できます。

連絡先:宮川京(代表)TEL:045-933-9753

○放大かながわレク・サークル

★パソコン部:個人のニーズに応じた学習。

学習日時:第2、第4木曜日 13時30分～15時30分。

場所:神奈川学習センター 実習室:申込制

★ウォーキング部:2ヶ月に1回、「東海道五十三次」実施中。名所旧跡文化 施設等も対象

★その他観劇、観光、映画、美術鑑賞等。

上記の各種活動はいずれも自由参加。

—会員募集中(随時申込・受付)—

問合せ:島田 義治 Tel 090-3907-8384

E-mail simada.yosiharu@coral.plala.or.jp

○韓国語同好会

★月例会 第2、第4土曜日

① 10:00～11:30 初級クラス

② 11:30～12:00 ミーティング(全員)

③ 12:00～13:30 中級クラス

④ 13:30～14:30 自主学習(「サランバンソニムとお母さん」読書会)

★講師 横浜国大大学院生 林恵園先生

★問い合わせ 神奈川サークル協議会のホームページからどうぞ。

<http://kcc-ouj.net/dantai/hangugo/>(代表:斎藤)

○人間学研究会

毎月の例会発表

神奈川学習センターにて 原則13:00より

8月～10月までの例会予定

8月 6日(土) 13:00～

10月 8日(土) 10:00～

会員の寄稿による会誌「せせらぎ」を毎年10月発行。今年は27号を発行予定。

遠足・演劇鑑賞・美術館めぐり等の行事もあります。

会員随時募集中

お問い合わせ先:

小林鋭子 E-mail: t7791aanta@ybb.ne.jp

片野賢治 E-mail: mt.dream@jcom.home.ne.jp

○神奈川放友会

豊かで実りある学生生活を共有することを目的に、「学び」と「触れ合い」を柱とする幅広い活動を展開し、130余名の会員から強い支持を得ているサークルです。

☆学びの場の活動

○例会 8月7日(日)

第一部:『みんなで夏を歌う』

第二部:講演会『三井と伊勢、近江商人』

☆触れ合いの場の活動

○一泊研修旅行 9月9～10日(土)

大学本部セミナーハウスに宿泊、研究発表、周辺散策と懇親の場

☆毎月の活動:俳句の会、書に遊ぶ会、女性の会、詩遊会他

詳しくはWebで、<http://kanagawa-hoyukai.jp>

入会申込・問い合わせ先:山崎正之

info@kanagawa-hoyukai.jp

○神奈川合唱団

♪ 合唱団の皆さんと一緒に

楽しく歌って見ませんか ♪

今年も学位記授与式(3/26)にNHKホールで、放送大学「学歌」を総勢60名の皆さんと一緒に歌い、卒業生・修了生をお祝いしました。

今学期は、「学歌」や「ふるさと」などを練習しており、2学期「入学式」に歌う予定です。

☆場所: 大岡地区センター音楽室(2F)

☆日時: 毎月第1・第3水曜日 18:00~20:30

問合せ 馬場信一 s.andante.b3682@docomo.ne.jp

高野義信 seiza_olion@docomo.ne.jp

○資格取得研究会

看護・福祉分野を中心にキャリアアップや進学・就職を目指す集まりです。現在、大学卒を目指す看護師の方、看護、医療、福祉関係のキャリアアップと認定心理士を取られる方などがいます。内容は、例会(情報交換)と講演会の聴講など。

これからの例会予定

・8月、9月 日時未定(卒業祝い・懇親会の場合あり)

・10月8日(土) 16:00~ (予定・会場未定)

会費: ¥500(1年間)

ホームページ…<http://shikaku.yumesora.net>

お問い合わせ…080-5546-7913(はこざき)

○中国語学習会

継続は力なり、楽しく学べれば継続は可なりです。会員相互の親睦を図りながら、少しずつ前進、中国語を学ぶ楽しさを分かち合ひましょう。全くゼロからスタートの方も、以前学んでだ方ももう一度チャレンジしませんか!

*学習日: 第1、第3日曜日(原則)

午前の部 告旭平先生

10:00-11:00「本気で学ぶ中級中国語」趙玲華著を教材に文法理解、表現力を高めます。

11:15-12:00 自由会話 講師の話の後、各自が話題を提供して語り合います。

午後の部 唐斌先生

13:00-15:00「中国語 I '14」放送大学教材にて発音練習を繰り返し基礎が固まったら、通じる喜びを実感できます。

どの時間帯でもすべて参加できます。

*お問い合わせ e-mail: snuf.708w@ezweb.ne.jp

tel.080-3552-2497 和田

○放送大学西洋音楽史研究会

☆毎月一回「文京学習センター」において勉強会を開催しています。

佐々木先生による講義と関連する音楽を聴き、質疑応答などをおして、西洋音楽史の知識、理解を深めることを目標に活動を行っています。

古代から中世・ルネサンス・バロック時代後半へと勉強会も34回と会を重ね、いよいよ話題は大バッハになりました。今後勉強会は古典派、ロマン派、現代へと展開する予定です。

今後の勉強会の予定、参加希望などは下記アドレスにお問い合わせください。

☆講師: 佐々木先生

(慶応義塾大学非常勤講師 元名古屋音楽大学教授)

☆お問い合わせ

seionken.ouj@gmail.com

神奈川同窓会だより

☆5月21日「同窓会通常総会」にて新役員が選出されました。同窓会の理念に基づいて活動を進めますので宜しくお願いします。

☆「弘明寺サロン」とは

～「行くところがある」「会う人がいる」場所～

*会員と会員を結ぶサロンです

*会員以外の方も大歓迎

*予約は不要です

*ぶらりと来てください

☆ ホームカミングデーの開催

9月&3日～4日フェスタの初日〔(9/3)は無料〕

OBの方気楽に会場して下さい。

☆ 弘明寺サロン8月13日(土)「映画鑑賞会」

13:00～17:00「風と共に去りぬ」

HP: →<http://hatoh.net/>

お問い合わせ…045-333-4426 金田 保男

OUJ神奈川学習センターだより編集部

家田、伊藤、入江、遠田、笠井、吉川、木下、宮崎、三国、和田

(50音順、以上、K-サポート機関紙編集チーム)

垣谷(K-サポート事務局)

宮崎(学習センター事務室)

◆学習センターからのお知らせ

◆入学生の「面接授業の科目登録申請」概要

《新規10月入学生※1》

申請科目：面接授業科目（放送授業科目は出願時に登録済）

申請期間：平成28年8月15日（月）9時～8月31日（水）24時まで

申請方法：システムWAKABAへログインし科目登録申請（郵送申請不可）

※1：平成28年7月15日（金）までに出願し8月7日（日）までに学費納付者が対象

《継続10月入学生：学籍が平成28年度第1学期で終了（自主退学予定者除く）する方。》

申請科目：放送授業科目、オンライン授業科目、面接授業科目（※2）

申請期間：平成28年8月15日（月）9時～8月31日（水）24時まで（※3）

申請方法：システムWAKABAへログインし出願後、科目登録申請（郵送申請不可）

※2：面接授業科目は、放送授業科目、オンライン授業科目登録後申請可能

※3：この期間以外の平成28年6月15日（水）～28年8月14日（日）及び9月1日（木）～20日（火）に出願した者は学期当初から面接授業の登録不可

【重要】学生募集要項（特にP28からP29）を必ず熟読・理解すること。

◆在学生（※1）の「科目登録申請」概要

申請科目：放送授業科目、オンライン授業科目、面接授業科目

申請期間：平成28年8月15日（月）9時～8月31日（水）24時まで

申請方法：システムWAKABAへログインし科目登録申請（※2）

※1：平成28年度第2学期にも引き続き学籍のある方（入学金支払不要の方）

※2：他に「科目登録申請票」郵送による申請方法があり、この方法の申請期間は、8月15日（月）～8月30日（火）大学本部必着

【重要】科目登録申請要項等を必ず熟読・理解すること。

◆特別聴講学生募集

放送大学（神奈川学習センター）では、横浜国立大学と相互に単位を互換する協定を締結し、双方向による単位互換を実施しています。これにより、放送大学の学生（全科履修生）は、単位互換協定を締結している横浜国立大学の授業科目を履修することができ、修得した単位は、放送大学の単位として認定されます。

平成28年度第2学期（後期）の募集の詳細内容は、神奈川学習センターHPやキャンパスネットワークホームページで確認してください。

※出願期間：平成28年8月7日（日）まで【期間厳守】

◆2017年度卒業研究履修申請

卒業研究履修申請条件を満たす方で、2017年度に新規卒業研究履修を希望される場合は、下記期間内に本部へ申請してください。申請書・送付用封筒がセットされた手引は、窓口で配付しております。申請希望者は手引にて今一度内容を確認してください。

《申請書提出期間》平成28年8月17日（水）～8月25日（木）（本部必着）

◆事務室からのお知らせ

- ①梅雨が明けると、猛暑日が続きます。どうか、水分補給には十分ご留意いただき、良質な睡眠、バランスの摂れた食事、規則正しい生活を心がけ、夏を乗り切りましょう。
- ②台風・大雨等による臨時閉所があり得るので、HPやCNを日頃から見てください。
- ③本センターの駐車場は身体に障がい等がある等の理由で特別に許可された学生のみが利用できます。許可のない方の駐車はご遠慮ください。

お問い合わせ：放送大学神奈川学習センター

電話045(710)1910（月曜日・祝日等を除く、9時10分～17時40分）